



はみがきや HEARTS 代表 橋 恵理子さん 口腔ケアサロンを創業

「一人一人の状態に合わせてベストの施術をして悩みを解決していきたい」

なでしこ力



橋 恵理子さん

口腔ケア専門サロン「はみがきや HEARTS」は橋さん夫婦が創業して4年、サロンを拠点に、介護施設に出向いての施術を中心に徐々に業務拡大を続けている。「歯ぐき、舌、口腔部を囲む筋肉のケアを行い、体全体の健康を目指し、医療でカバーしきれないケアを行い体調の改善につなげている。

「はみがきや HEARTS」(名古屋市名東区)は、自社のホームページで、「歯とお口のケアサロン」と紹介している。「口腔内を清潔にすることで、体全体の不調を改善し心の健全化につなげていこう、セルフケアの重要性を広く伝えていこう」と創業された。屋号は、歯とハート(心)を健全に結びつけていこうということからきている。

歯周病菌は、糖尿病、脳梗塞、心臓病などの誘因になることがわかっており、特に誤嚥性肺炎を誘発し、高齢者が以前のように食事を楽しむことが難しくなることもある。体に悪影響を及ぼす菌は、口腔内では歯ぐきだけではなく舌などにも多く存在し、これらが体の中に入ってくる。しかし口腔内を清潔に保つためのケアは、医療分野においてまだまだサポートが不足していることがある。

「はみがきや HEARTS」の口腔ケアは医療機関ではないので、薬や機械を使わない。歯ブラシと自然素材の歯みがき剤を上手につかひこなすことで口の中をきれいにし、メンテナンスを行い、毎日のセルフケアの大切さを伝えている。

また、歯、歯ぐき、舌、口回りから肩までつながる筋肉までをケア。施術は、痛みや我慢を伴うものでなくリラックスできると好評で、施術中に眠ってしまう人も多い。

代表の橋恵理子さんは歯科衛生士として20年以上の経験がある。同社では誤嚥性肺炎での入院をゼロにした「セイダ式」(歯科衛生士・精田紀代美)の「舌磨き」をベースに、橋さんが長年の経験の中で構築した施術を行っている。

歯ぐきには40のツボがあり、それらを刺激し多面的なケアで歯ぐきを引き締めることで健康体につなげていく。最近、舌の位置が下がっている人が多く、口呼吸になり体の不調をきたす人もいる。舌の位置を正常な位置に戻すことで、姿勢改善につながり、口腔を囲む筋肉も正常に戻すと鼻呼吸をとりもどせる。食べる力を強め、肩につながる筋肉をケアすることは肩こりや頭痛などの不調の改善にもつなげている。

橋さんが介護施設に出向く場合は、利用者の口腔ケアだけでなく、「週2回の手入れで口腔内が清潔に保てる方法」を介護スタッフにレ